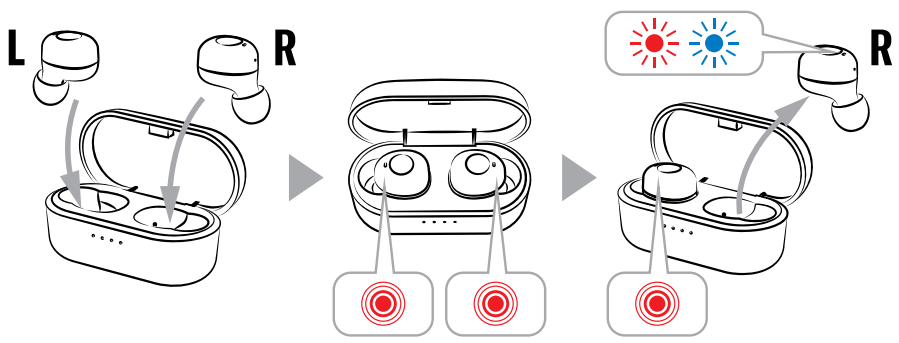
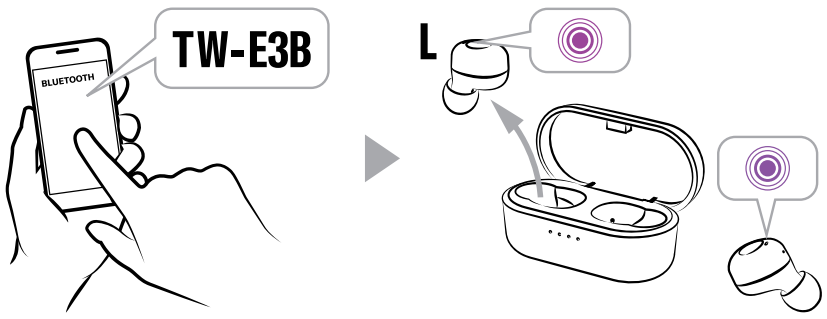
QUICK START GUIDE
GUIDE DE DÉMARRAGE RAPIDE

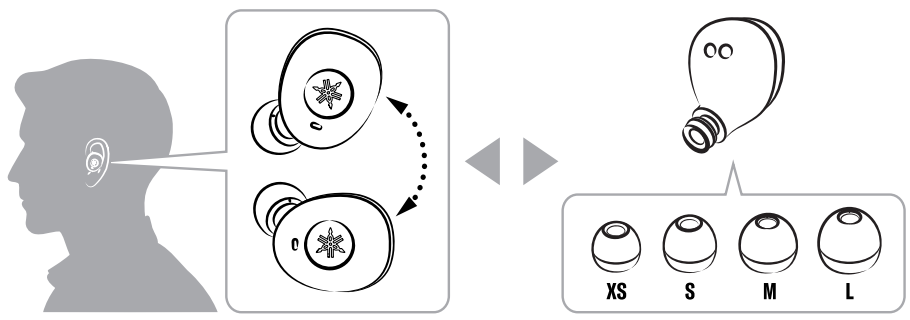
1 POWER ON / ALLUMER



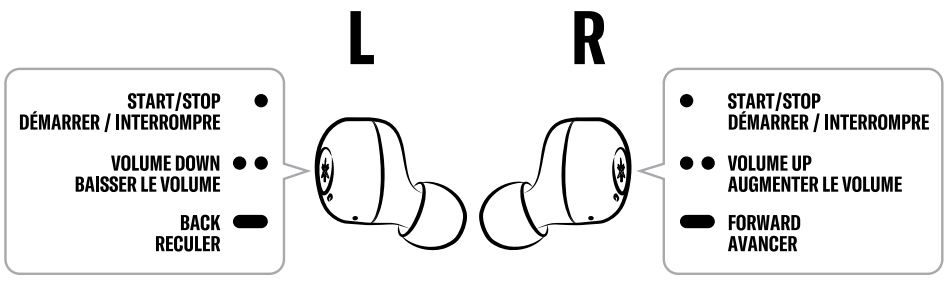
2 CONNECT / CONNECTER



3 WEAR / UTILISER



4 FUNCTIONS / FONCTIONS



TW-E3B 完全ワイヤレスイヤホン スタートアップガイド JA

はじめに、安全上のご注意（裏面）を必ずお読みください。本書では、初めて Bluetooth 機器と接続するための操作をイラストで説明しています。イラストに従って操作してください。

こんなときは？

より詳しい説明や次の場合は、**ユーザーガイド**をご覧ください。

- 接続（ペアリング）できない。
- 別の Bluetooth 機器と接続したい。
- 専用アプリを使いたい。
- 初期化したい。

ユーザーガイド
https://manual.yamaha.com/av/20/twe3b/qasearch.html

お問い合わせ窓口

ヤマハ AV 製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

◉ お客様コミュニケーションセンター
オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口
ナビダイヤル（全国共通） **0570-011-808**

受付：月～金曜日 10:00 ～ 17:00
（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。
左記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。

TEL (053) 460-3409
https://jp.yamaha.com/support/

ヤマハ AV 製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

◉ ヤマハ修理ご相談センター
ナビダイヤル（全国共通） **0570-012-808**

受付：月～金曜日 10:00 ～ 17:00
（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）
固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。
上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。

TEL (053) 460-4830

FAX でのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄地域にお住まいのお客様
(06) 6649-9340

修理品お持ち込み窓口
受付：月～金曜日 10:00 ～ 17:00
（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）
お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター
〒 143-0006
東京都大田区平和島 2 丁目 1-1
京浜トラックターミナル内 14 号棟 A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター
〒 556-0011
大阪市浪速区難波中 1 丁目 13-17
ナンバ辻本ビル 7F
FAX (06) 6649-9340
名称、住所、電話番号、URL などは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

◉ 保証期間
製品に添付されている保証書をご覧ください。

◉ 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

◉ 保証期間が過ぎているとき
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

◉ 補修用性能部品の最低保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。ただし、故障の状況やその他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合があります。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

◉ 修理のご依頼
本書やユーザーガイドをもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

Manual Development Group
© 2020 Yamaha Corporation
2020 年 11 月発行
AMOD-B0
AV20-0105

ヤマハ株式会社
〒 430-8650
静岡県浜松市中区中沢町 10-1

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

人への危害や財産への損害を防止するために、ここに示した注意事項を必ずお守りください。
お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

- 点検や修理は、必ず次の窓口にご依頼ください。
  - お買い上げの販売店
  - ヤマハ修理ご相談センター
- 本製品は一般家庭用機器です。生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される用途に使用しないでください。
- 不適切な使用や改造による、あらゆる損失については補償はいたしかねますので、ご了承ください。

「警告」「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。

記号表示について

本製品や本説明に表示されている記号には、次のような意味があります。

注意喚起を示す記号　禁止を示す記号　行為を指示する記号

警告　「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

使用時の注意

禁止

自動車や自転車を運転中に使用しない。また、踏切や工事現場など、周囲の音を聞く必要のある場所では使用しない。
事故の原因になります。

異常に気づいたら

必ず実行

次のような異常が発生した場合、すぐに使用を中止する。
- **機器から異臭、異音や煙が出た場合**
- **機器の内部に異物や水が入った場合**
- **機器が異常に発熱した場合**
- **機器に亀裂、破損がある場合**

そのまま使用を続けると、やけど・けが・発火・破裂・液漏れ・感電・故障の原因になります。至急、点検や修理をご依頼ください。

充電

必ず実行

充電ケースを充電するときは、市販の USB 電源アダプター（DC 5 V、0.5 A 以上）の USB 端子に接続する。
誤って接続すると、火災・破裂・液漏れ・感電・故障の原因になります。

指定された充電温度内で充電する。
範囲外の温度での充電は、火災・破裂・液漏れ・感電・故障の原因になります。

イヤホンは付属の充電ケースで充電する。
付属の充電ケース以外の充電器での充電は、火災・破裂・液漏れ・感電・故障の原因になります。

充電については、ユーザーガイドを参照してください。

禁止

付属の USB 給電ケーブルをほかの機器に使用しない。USB 給電ケーブルは、必ず付属のものを使用する。
火災・やけど・故障の原因になります。

充電中、使用中は毛布や衣類などを本製品にかぶせない。
発熱・発火の原因になります。

本製品がぬれている状態では絶対に充電しない。
火災・破裂・液漏れ・感電・故障の原因になります。

分解禁止

禁止

本製品を分解したり改造したりしない。
火災・破裂・液漏れ・感電・故障の原因になります。

水に注意

禁止

（充電ケース、付属の USB 給電ケーブルについて）浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところや水がかかるところで使用しない。
内部に水などの液体が入ると、火災・破裂・液漏れ・感電・故障の原因になります。充電するときは、イヤホン本体がぬれていないことを確認してください。ぬれている場合は、乾いたやわらかい布などで水分を拭き取ってください。

禁止

ぬれた手で充電ケースを扱わない。
火災・破裂・液漏れ・感電・故障の原因になります。

火に注意

禁止

この機器の近くで、火気を使用しない。
火災・破裂・液漏れ・感電・故障の原因になります。

取り扱い

禁止

この機器を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
火災・破裂・液漏れ・感電・故障の原因になります。

ワイヤレス機器

禁止

医療機器の近くなど電波の使用が制限された区域で使用しない。
本製品が発する電波により、医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。航空機の中などで使用する場合は、係員の指示に従って使用してください。

心臓ペースメーカーや除細動器の装着部分から 15 cm 以内で使用しない。
本製品が発する電波により、ペースメーカーや除細動器の動作に影響を与えるおそれがあります。

注意　「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

聴覚障害

禁止

大きな音量で長時間この機器を使用しない。
聴覚障害の原因になります。80 dB(A) の音量で 40 時間 / 週、89 dB(A) の音量で 5 時間 / 週を超えないようにしてください。異常を感じた場合は、医師にご相談ください。

必ず実行

接続する機器およびこの機器の音量を最小にしてから接続する。
聴覚障害の原因になります。

取り扱い

禁止

小さな部品は、乳幼児の手の届くところに置かない。
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。

イヤピースを外したまま装着したり、壊れたイヤピースを使用したりしない。
けがや炎症の原因になります。

必ず実行

イヤホンがお肌に合わないときはすぐにご使用を中止する。
使用を継続すると、けがや炎症が悪化する原因になります。

イヤピースはイヤホンにしっかり装着する。
イヤピースが外れて耳に残ると、けがや病気の原因になります。

ご注意　製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、お守りいただく内容です。

- 次のような場所に設置しないでください。
  - 直射日光の当たる場所
  - 極端に温度が高い場所や低い場所
  - ほこりが多い場所

  故障・変形・動作不良の原因になります。
- お手入れのときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。
  ベンジン、シンナー、洗剤、化学ぞうきんなどで製品の表面を拭かないでください。変色・変質の原因になります。
- 時計、磁気カードなど磁気の影響を受けるものに近づけないでください。
  データを破損または破壊する原因になります。
- 次のことをしないでください。
  - ボタンやスイッチ, 端子などに無理な力を加える。
  - 接続した USB 給電ケーブルを引っ張る。

  本製品が破損する原因になります。
- USB 給電ケーブルが破損するようなことをしないでください。
  - ストーブなどの熱器具に近づけない
  - 無理に曲げたり、加工しない
  - 傷つけない
  - 重いものをのせない

  芯線がむき出しのまま使用すると、故障の原因になります。

お知らせ

イヤホン本体は防水性能「IPX5」相当です。
IPX5 は、あらゆる方向からの水の直接噴流によっても機能を保ちます。なお、常温の真水や水道水での性能を保証する規定であり、温水および海水等で同等の性能を有することを保証するものではありません。また、誤った取扱いによる水の浸入で生じた故障については、保証期間内でも保証対象外となります。IPX とは、JIS C 0920（IEC 60529 の整合規格）「電気機械器具の外郭による保護等級（IP コード）」の「水の浸入に対する保護等級」です。

イヤホンやヘッドホンから音が漏れて周囲の迷惑になりますので、公共の場では大きな音で使用しないでください。

無線機能に関するお知らせ

（Bluetooth）

2.4 FH4/XX6

「2.4」：2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「FH」：変調方式は周波数ホッピング
「4」：想定干渉距離が 40 m 以内
「XX」：変調方式はその他の方式
「6」：想定干渉距離が 60 m 以内
▬ ▬ ▬：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

無線に関するご注意
この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

本製品の銘板に関するお知らせ

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、充電ケースの底面に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

ご使用に関するお知らせ

- イヤピースなどの消耗品の交換については、ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 空気が乾燥した場所では耳にピリピリと痛みを感じることがあります。これは人体や接続した機器に蓄積された静電気によるもので、イヤホンの故障ではありません。

充電池について

Li-ion

本製品にはリチウムイオン電池が使用されています。
- 機能を維持するため半年に一度は充電をしてください。長時間使用しないと、充電できなくなることがあります。
- 指定温度外では充電ができません。指定された温度の範囲内で充電してください。
- 充電池には寿命があります。保管方法や環境、使用回数や時間の経過によって容量が少しずつ低下します。
- お客様自身で電池を取り外すことはできません。
- リチウムイオン電池はリサイクルできます。

寿命による電池の交換や、本製品が不要になった場合は、ヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。

本製品の付属品や仕様など詳しくは、「ユーザーガイド」をご覧ください。
本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

R 018-200267